

東南 アジア 学会

JAPAN SOCIETY FOR
SOUTHEAST ASIAN STUDIES

第106回研究大会

2024

12.7(土) 8(日)

会場：大阪大学
箕面キャンパス

OpenSEA

自由研究発表とパネル発表につぐ発表枠として、「OpenSEA」を開催します。
発表者を「ライトニングトーク」と「ポスター発表」の2枠で募集中。

A Lightning Talk ライトニングトーク
持ち時間5~7分で、研究大会初日(7日)の夕方に発表。

B Poster Presentation ポスター発表
A0サイズポスターで、大会期間中に会場内で発表。



学会HP OpenSEA

[https://www.jsseas.org/
%e7%a0%94%e7%a9%
b6%e5%a4%a7%e4%
bc%9a/opensea/](https://www.jsseas.org/%e7%a0%94%e7%a9%b6%e5%a4%a7%e4%bc%9a/opensea/)



OpenSEA

募集案内

東南アジア学会のみなさま

このたび東南アジア学会では、来る12月7日(土)・8日(日)に大阪大学で開催予定の第106回研究大会にあわせて、前大会に続いて「OpenSEA」の発表枠を設けます。この枠の発表者は、東南アジアおよび本学会に関心を持つ様々な分野の方々を主な対象としており、「ライトニングトーク」、「ポスター発表」の2つのカテゴリーから成ります。本学会に入会して間もない会員や非会員にとっては、本学会が蓄積してきた知見や方法論に触れる機会として、また従来から積極的に関与くださっている会員にとっては、東南アジアに関する新しい試みやつながりと出会い、裾野の広い学会を実現する場として、この「OpenSEA」をご活用いただければと思います。

会員各位におかれましては、下記要領に合致する方が周りにいらっしゃいましたら、積極的に応募するようお声がけください。

2024 12.7(土) 8(日)

会場：大阪大学 箕面キャンパス

開催形態：対面を重視したハイフレックス形式
(発表者は原則として対面参加をお願いします)

A Lightning Talk ライトニングトーク
1人あたり持ち時間5~7分で、ご自身の知見をプレゼンテーション(口頭発表)していただきます。研究大会初日(7日)の夕方の時間帯に行います。

B Poster Presentation ポスター発表
ご自身の知見を、A0サイズ(841mmx1189mm 程度)のポスターにまとめていただきます。ポスターは、大会期間中に会場内に掲出するとともに、いくつかの時間帯にはポスターの前で、来場者からの質問にお答えいただけます。

ライトニングトークとポスター発表の両方を行うことをお勧めします。ライトニングトークは5-7分の予定ですが、ポスター発表を行って頂くと、もっと時間をかけて多くの方と直接お話しする機会を持てます。

発表資格

会員/非会員を問いません。下記の方々のご応募を歓迎します。なお、本学会の学生会員に対しては、東南アジア学会研究奨励基金規程にしたがい、旅費の一部を補助いたします。

本学会に入会して間もない会員

研究大会での発表経験が少ない会員

修士課程・博士課程の方

研究に着手し始めた方の研究計画、調査を終えた段階の方の中間報告や研究展望、あるいは修了して間もない方の論文概要などをお話してください。留学生の方も歓迎します。英語での発表も可です。

社会人の方

NGO/NPOや企業関係者、ジャーナリスト、高校教員などの教育関係者、東南アジアでのプロジェクトを支援している組織の方など。実務者実務の過程で得られた知見を共有ください。ただし、営利目的のご発表はお断りします。

高校生や学部生の方

研修旅行、グループ学習やゼミ活動等を通じて得られた成果や今後の展望などをご報告ください。卒業して間もない方も歓迎します。

自然系・理系研究者の方

ご自分のご研究で本学会会員と共有したい成果や、今後研究交流や共同研究を試みたい内容などをご報告ください。

応募締切 2024 9.21(土)



締切期日までに下記のURLの申請フォームよりエントリーしてください
<https://forms.gle/VyurxN8d688ZanTRA>

◆締切後に、東南アジア学会大会理事・委員で採否を検討し、理事会での承認を経て、10月中旬頃までには応募者各人にメールで採否の結果をお知らせします。

◆発表タイトルは、発表の概要が分かるものにして下さい。発表要旨(400字程度)では、問題の所在(どこにどのような問題があるのか)、研究や実践活動の目的(何を明らかにしたいのか、何を達成したいのか)、調査や実践の方法、結論や成果(何が確かめられたか、または、何が成果として得られたか)、参考文献(参照した先行研究)を明示して下さい。

学生会員への旅費補助

学生会員等が報告する場合は、本学会の規定に従って旅費の補助を受けることができます。旅費の補助を希望する方は、申し込み時にその旨をお知らせください。